

重点施策

基本目標No.	2	基本目標名	安全で快適な暮らしやすいまち
施策No.	11	施策名	災害に強いまちの形成
主管課名	建設課		
関係課名	農林水産課、都市計画課、教育総務課、水道課、下水道課、財政課、総務課		

施策が目指すすがた

- ・風水害による被害を未然に防止するための河川、排水路や土砂災害防止施設などが整備されています。
- ・地震による被害を未然に防止するための公共施設などの耐震化が進んでいます。

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・施設や危険箇所などの見回りをを行い、異常を発見したら連絡します。 ・建物の耐震化に努めます。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備に係る計画立案、事業実施、維持管理を行います。 ・住まいの耐震化に関する相談や情報提供を行います。
	その他(地域)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみで、身近な川や排水路などの除草や土砂ざらいを行います。

市民意識調査結果

< 施策満足度調査結果 > ※27年度は「実感度」

23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
-0.126	-0.125	-0.184	-0.088	0.106

< 施策重要度調査結果 >

23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
0.912	0.952	0.863	1.167	

施策のトータルコスト	区 分	単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	—	15 (15)	15 (15)	17 (17)	16 (16)
	うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	5 (5)	5 (5)	5 (5)	
	うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	5 (5)	6 (6)	6 (6)	
	うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	5 (5)	5 (5)	5 (5)	
	うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—				
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	—	283,577	751,528	689,828	861,284
	うち基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	87,488	98,167	49,059	93,186
	うち基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	39,713	44,835	313,463	627,443
	うち基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	156,376	608,526	327,305	140,655
	うち基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—				
	C. 施策に携わる正規職員数合計	人	—	—	57	63	63	57
	D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	—	13,120	13,640	20,900	17,740
	E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)	千円	—	—	57,715	57,206	91,584	74,171
	F. トータルコスト (B+E)	千円	—	—	341,292	808,734	781,411	935,455
効率性指標	G. 市民1人あたりにおける施策の事業費 (定義式 : B/人口)	円	—	—	6,399	17,066	15,838	19,959
	同上	円	—	—	1,302	1,299	2,103	1,719
	H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	—	—	1,302	1,299	2,103	1,719
	同上	円	—	—	7,701	18,365	17,941	21,678
参考	I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	—	—	7,701	18,365	17,941	21,678
	1時間あたりの平均人件費	円	—	—	4,399	4,194	4,382	4,181
	魚津市の人口(各年度12月末時点)	人	—	—	44,315	44,036	43,555	43,152

基本事業概要シート①

施策No.	11	施策名	災害に強いまちの形成
基本事業名①		浸水対策の強化	
基本事業①の目的(意図)		浸水被害や、高波被害などから市民の生命と財産を守るための雨水幹線、小河川(排水路)や海岸保全施設が整備されています。	
平成27年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【雨水幹線築造工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こうなぎ川1号雨水幹線の整備(L≒69m)を平成23年度より継続して実施しました。また、村木排水区雨水貯留施設の実施・詳細設計を行い、事業推進に努めました。 <p>【河川維持事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小河川、排水路13箇所(箇所)の改修等を行うとともに、排水路や側溝に堆積した土砂等を浚渫しました。 <p>【河川関係同盟会事務局事務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山県に対して、二級河川 片貝川、布施川、鴨川の改修及び経田海岸の護岸改修の事業促進について要望しました。 	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
雨水幹線整備率	%	63.7	63.9	63.9	64.5	64.5	64.6	64.7	65.0
小河川・排水路改修済延長(累計)	km	6.85	63.8	64.2	64.5	64.8	65.8	66.5	7.95
			6.95	7.05	7.15	7.25	7.35	7.45	
			6.95	7.27	7.48	7.71	7.84	8.20	

基本事業①を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成27年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ 河川維持事業	20,000,000	19,775,880	224,120	A	建設課
2	一般会計	河川管理事業	2,765,000	2,628,716	136,284	-	建設課
3	予算なし	河川関係同盟会事務局事務	0	0	0	-	建設課
4	予算なし	水防計画策定事業	0	0	0	-	建設課
5	下水道事業特別会計	◎ 雨水幹線築造工事	74,537,800	70,781,326	3,756,474	A	下水道課
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			97,302,800	93,185,922	4,116,878		

基本事業概要シート②

施策No.	11	施策名	災害に強いまちの形成
基本事業名②		山地崩壊対策等の強化	
基本事業②の目的(意図)		土砂災害から市民の生命と財産を守るために砂防、地すべり、急傾斜地崩壊対策施設などが整備され、安全・安心な暮らしが確保されています。	
平成27年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【土木災害復旧事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山県総合防災訓練に参加するとともに、富山県に対して、砂防改良、地すべり対策及び急傾斜地崩壊対策の事業促進について要望しました。 ・平成26年7月豪雨により被災した市道や準用河川、崩壊した山腹の復旧工事はすべて完成しました。 <p>【県単独治山事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年7月豪雨による東山地内の災害個所の治山工事は、すべて完成しました。 <p>【農林業施設災害復旧事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年7月豪雨による林道施設、農業用施設の災害復旧工事はすべて完成しました。 ・平成27年7月豪雨により被災した林道2箇所、農地2箇所、農業用水路1箇所の災害は、国の災害査定を受け、復旧工事の発注手続きを進めました。 	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
土砂災害警戒区域整備箇所数 ※平成21年度末現在:235箇所	箇所	131	131	133	135	137	140	142	150
			131	133	135	135	136	137	

基本事業②を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成27年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	◎ 県単独治山事業	48,734,000	46,341,720	2,392,280	A	農林水産課
2	一般会計	農林業施設災害応急措置作業	8,000,000	7,993,404	6,596	-	農林水産課
3	一般会計	農林業施設災害復旧事業	465,904,633	426,832,833	39,071,800	-	農林水産課
4	予算なし	◎ 県営治山事業	0	0	0	A	農林水産課
5	一般会計	土木災害復旧事業	110,200,000	95,372,720	14,827,280	-	建設課
6	一般会計	○ 急傾斜地崩壊対策事業	59,800,000	50,902,560	8,897,440	A	建設課
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			692,638,633	627,443,237	65,195,396		

基本事業概要シート③

施策No.	11	施策名	災害に強いまちの形成
基本事業名③		耐震化の推進	
基本事業③の目的(意図)		多くの市民が利用する施設やライフラインなどが耐震化されていることにより、安全・安心な暮らしが確保されています。	
平成27年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【中学校耐震補強事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の耐震補強事業として、西部中学校の体育館、東西中学校の武道場の吊り天井等の非構造部材の耐震補強工事を実施しました。 <p>【増補改良事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加積・天神・上中島地区を中心とした老朽化水道管の耐震管への更新事業を実施しました。 <p>【公共下水道事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚津市浄化センター汚泥処理棟の耐震化を含む再構築工事の実施設計が完了しました。 <p>【木造住宅耐震改修支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人の木造住宅耐震改修について、1件の補助金支援を行いました。 	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
学校施設の耐震化率	%	51.7	53.3	62.7	64.7	83.3	95.2	97.6	100.0
			53.3	64.0	68.3	82.9	95.1	97.4	
橋梁の耐震化率(橋長15m以上の市道橋39橋)	%	5.1	5.1	5.1	5.1	10.3	15.4	20.5	46.2
			7.7	7.7	7.7	64.1	64.1	71.4	

基本事業③を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成27年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	◎ 橋梁改修事業	24,805,878	24,805,878	0	A	建設課
2	一般会計	◎ 木造住宅耐震改修支援事業	1,200,000	600,000	600,000	B	都市計画課
3	予算なし	公共施設耐震診断業務	0	0	0	-	都市計画課
4	予算なし	要緊急安全確認大規模建築物耐震診断促進事業	0	0	0	-	都市計画課
5	一般会計	◎ 中学校耐震補強事業	115,397,000	115,248,983	148,017	A	教育総務課
6	水道企業会計(資本的支出)	○ 増補改良事業(施策18①再掲)	(200,360,000)	(151,289,640)	(49,070,360)	B	水道課
7	下水道事業特別会計	◎ 公共下水道事業(施策19①再掲)	(431,390,200)	(302,393,409)	(128,996,791)	A	下水道課
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合 計			141,402,878	140,654,861	748,017		

施策No.	11	施策名	災害に強いまちの形成
27年度の 評価結果 (基本事業 の成果を 考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	<p>【①浸水対策の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆雨水幹線整備率の平成27年度実績値は目標値を達成しました。小河川・排水路の改修は、溢水箇所、老朽箇所を中心に毎年一定量の改修を行っています。 ◆近年の異常気象に伴う河川の氾濫により毎年多くの被害が発生しており、平成26年7月19～20日にはこれまでに経験したことのない豪雨により甚大な被害が発生して、自然災害に対する市民の関心は非常に高くなっています。 <p>【②山地崩壊対策等の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆山地崩壊対策等は、1箇所が事業完了しましたが、土砂災害警戒区域整備箇所数は目標値を達成しておりません。 ◆近年の異常気象に伴う土砂災害により毎年多くの被害が発生しており、平成26年7月19～20日にはこれまでに経験したことのない豪雨により甚大な被害が発生して、自然災害に対する市民の関心は非常に高くなっています。 <p>【③耐震化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆学校の耐震化は、平成24年度までは県内で最も低い耐震化率でしたが、平成27年度末では、解体予定の1棟を除き耐震化は実質上完了しました。 		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (27年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取組み内容を中心に記述)		
<p>【①浸水対策の強化】</p> <p><雨水幹線築造工事></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆こうなぎ川1号雨水幹線の整備により、経田地区内下流域の浸水被害の発生が解消されました。また、村木排水区内雨水貯留施設の実施・詳細設計を行い事業推進に努めました。 <p><緊急浸水対策計画策定事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆平成26年7月の豪雨により発生した二級河川流域の浸水被害の早期軽減を図るための緊急浸水対策計画を策定しました。 <p><河川維持事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆市街地の溢水箇所や老朽化解消のため、13箇所の排水路改修を行いました。また、排水路や側溝8箇所の堆積した土砂等を浚渫しました。 <p>【②山地崩壊対策等の強化】</p> <p><土木災害復旧事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆魚津市を主会場とする富山県総合防災訓練に参加するとともに、富山県に対して、砂防改良、地すべり対策及び急傾斜地崩壊対策の事業促進について要望しました。また、平成26年7月豪雨により被災した市道や準用河川、崩壊した山腹7箇所の復旧工事は、すべて完了しました。 <p><農林業施設災害復旧事業、県単独治山事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆平成26年7月豪雨災害の復旧工事(林道、農地、水路、治山)は、すべて完了しました。 <p>【③耐震化の推進】</p> <p><中学校耐震補強事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆学校施設の耐震化として、東西中学校の武道場と西部中学校の吊り天井の非構造部材の耐震化を実施しました。 <p><木造住宅耐震改修支援事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆個人の木造住宅耐震改修について、1件の補助金支援を行いました。 <p><増補改良事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆上水道は、老朽管の更新、拡張事業に併せ耐震化を図りました。 			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<p>【①浸水対策の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆こうなぎ川1号雨水幹線は、平成28年度も継続して整備を進める予定です。また、平成27年度に実施した村木排水区の実施・詳細設計に基づき、平成29年度から雨水貯留施設の整備を進める予定です。 ◆市街地の排水路については、溢水箇所を重点的に整備を進める予定です。また、平成27年度に策定した緊急浸水対策計画に基づき、河川管理者等へ浸水対策の促進を働きかけます。 <p>【②山地崩壊対策等の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ソフト面では防災関係機関による危険箇所パトロールを実施するとともに、引き続き、県に対し山地崩壊対策について事業の促進を働きかけます。一方、ハード面では2箇所の急傾斜地崩壊対策事業及び1箇所の災害防除事業を進める予定です。 ◆平成26年発生した農林災害復旧工事は完了しましたが、平成27年7月の豪雨により林道2箇所、農地2箇所、農業用水路1箇所に被害が発生しました。また、鹿熊地内において崩落が発生しました。これらの復旧工事を平成28年度で完了、被害箇所の復旧を進める予定です。 <p>【③耐震化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆学校施設の耐震化については、小中学校38棟のうち平成27年度末で1棟が残っています。文部科学省の方針では、平成27年度末までに耐震化を完了するよう求められていますが、残り1棟の本江小学校は平成29年度までに新築することとしています。また、非構造部材の耐震化については、平成27年度末で、全ての学校の吊天井の対応が完了しました。 ◆平成24年度に策定した市道橋の長寿命化修繕計画に基づき、順次長寿命化、耐震化を進める予定です。 ◆市内建築物の耐震化を促進するために、木造住宅耐震改修支援事業を市広報で紹介しながら耐震化の啓発活動を引き続き実施します。 ◆老朽水道管の耐震管への更新については、年1%を目安として事業を進めていきます。 			

部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)	◆近年、全国各地でゲリラ豪雨や大規模な地震、火山噴火など自然災害が多発している。また、市民意識調査の結果からは、災害に強いまちづくりが望まれていることから、引き続き自然災害から市民の生命・財産を守るための対策を実施すること。
---	--

経営戦略会 議における施 策の課題及 び方針	◆ゲリラ豪雨、大規模な地震等の自然災害から市民の生命・財産を守るための対策を実施し、災害に強いまちづくりを進めます。
---------------------------------	--

28年度開始 の第10次基 本計画におけ る対応施策	施策No.	施策名	基本事業①	浸水対策の強化
	11	災害に強いまちの形成	基本事業②	山地崩壊対策等の強化
			基本事業③	耐震化の推進
			基本事業④	
第9次基本計 画からの変更 点	変更なし。			